

若者の力



臨床検査科実習風景 (2年生 臨床微生物学実習 I での1コマ)

(撮影：近末 久美子)

特集 これからの学生支援体制

■ 就職支援講座

■ 第4回オープンキャンパス／第1回公開講座

■ 第4回オペレッタ発表会

■ サークル紹介⑤／表彰

■ 教員の活動紹介⑳／先輩から後輩へ⑳

■ 高校生の来学／川崎エコプロジェクト

■ インフォメーション

特集

進化し続ける

川崎医療短期大学

学生支援体制

これからの学生支援体制

学長 今城 吉成

平成二十二年四月から学生生活を支える川崎医療短期大学の施設が新しくなりました。まずは、学生食堂と寮食堂を改装した「フードモール」や「ぱん●で●らんち」の開店、引き続き、学生のここところから、学修を支える施設として医務室、学生相談室、学修支援室、就職・編入学支援コーナーが開設されました。これら施設の改善には、これまで行われた学生満足度調査の結果も反映されています。そこで今回の特集では、この施設改善の発端となった学生満足度調査の結果の解析とリニューアルした施設についてお伝えします。

本年の六月二日に学園創立四十周年記念事業の一つとして、また本学協助会にも補助をお願いして、一階の図書館南に「学生支援センター」を開設しました。

施設の内容は、学修支援室、就職・編入学支援コーナー、学生用コピー室、医務室（学生相談室、感染症隔離室を含む）などであり、加えて四階の旧425、426号室を新たに三部屋に分割し、視聴覚研修室、多目的研修室1、多目的研修室2を設けました。これらの施設は昨年七月、「学習環境の現状と改善」として学生生活委員会でもとめて頂いた各学科の要望のうち、少人数学習室や図書館以外の自習スペースの確保といったリクエストに応えたものであり、医務室の拡張と内容の充実、昨年猛威を振った新型インフルエンザの経験に学んだ結果であります。

皆さんもご存知のように、大学における学生支援の内容は多岐に亘ります。学業やキャリアのガイダンスを始め、学生生活全般、つまり人間関係や心と身体の健康、日常的なトラブル、いじめ、セクハラ、アカハラに至るまで、時には緊急に、場合によっては極秘裏に深く長く、親身に対応することが求められます。この度の学生支援センターの開設で、ハード面の遅れはかなり取り戻すことが出来ました。当面はソフト面の対策として導入したアドバイザー制を取り上げ、学習や生活面での身近な相談環境が提供出来るよう、経験を積み重ねて実効性のある制度に育てていただく積りです。

さらに昨年からは始まった単位制は、多くの大学が実施している修学制度ではありませんが、医療系で国家試験を控えた本



学にとつては、運用に一工夫が求められる制度でもあります。GPAや学習ポートフォリオを機能させ、具体的に価値明示的な講義と透明性の高い成績評価システムの組み合わせでその弱点を補完する必要があり、今後はこれに対する取組が、本学の学生支援の中心になるものと考えて準備をしているところです。

平成19年度～平成21年度満足度調査結果報告

学生生活委員会 委員長 名木田 恵理子

平成十九年度から卒業前の学生を対象に「学生生活満足度調査」を実施しています。これは、学生生活に対する学生の率直な声を聞き、それを元に学生生活支援体制や教育体制を改善していこうというものです。当初はOCR用紙を使っていたアンケートでしたが、平成二十一年度にはeラーニング専門委員会の協力を得て、 Moodle（インターネット上に開設された学習システム）での回答にし、瞬時に結果が得られるようになっていきます。アンケートは、全七十六項目を、Ⅰ. 全体的な評価、Ⅱ. 教育体制に対する満足度、Ⅲ. 授業に対する満足度、Ⅳ. 学生生活の満足度、Ⅴ. 支援体制についての満足度、Ⅵ. 施設・設備に対する満足度、Ⅶ. 寮についての満足度に分け、「大変不満足」から「大変満足」までの五段階評価で回答を求めました。

第一回目の平成十九年度の結果は、私たち教職員にとってショックなものでした。古くなっている施設・設備に対する不満があることは予想していましたが、就職・進学のサポート体制、授業内容、教職員の対応について不満が顕著になっている学科もあつたのです。本学教員は教育や指導に自信を持っていましたが、学生生活満足度調査を実施してみました。結果、受け手である学生のニーズに合っていない部分があることを認識しました。これを受けて、体制の見直しや施設設備については大学全体として、具体的な教育・生活支援については学科単位で取り組み改善していくことにしました。

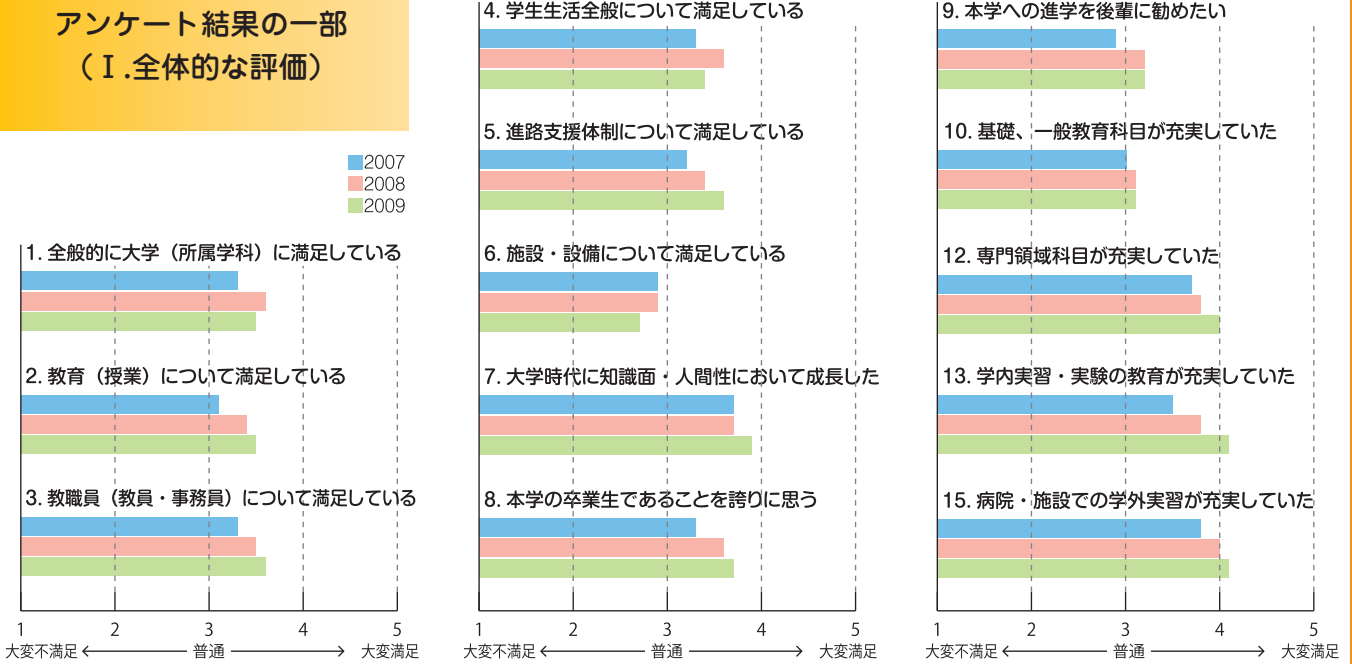
その結果この三年間で、教育体制、授業、支援体制についての満足度は、全学的に「普通」から「満足」へと向上しました。特に「学内実習・実験が充実していた」「ゼミまたは卒業研究が充実していた」「病院・施設での実習が充実していた」「専門科目は新しい分野について学べる授業が多かった」「将来の仕事に役立つ授業が多かった」「熱心な指導をする教員が多かった」などの項目は0.4～0.7ポイント上昇し、平均4.2の評価となりました。

また、「就職支援が充実していた」で、2.3という低い満足度だった医療保育科は4.2に上がり、この間の専任教員の熱心な指導が評価されています。そのほか「担任によるサポートが充実していた」「友人関係に満足できた」「大学の卒業生であることを誇りに思う」「国家試験対策が充実していた」などの項目でも評価が大幅に向上しました。（アンケート結果のうち下のグラフは、Ⅰ. 全体的な評価の三年間の変化を示したものです。）

一方で、学生数の多い看護科では他学科に比べ評価がそれほど上がらず、対応に苦慮している姿も浮かんでいます。また、施設設備の充実についても、大学としてできることから手をつけているものの、学生の満足度はむしろ低くなっています。設備面について、学科単位で問題点を探り、改善に向けて優先順位を付けていきました。その結果が「学生支援センター」をはじめとする学習環境の整備や、アドバイザー制の導入という形となって現れています。

学生による「評価」について今どきの若者気質からくる「甘え」もあるのではないかと指摘もありますが、彼らの生の声の意味するところを真摯に受け止め、これからの改善に向けて努力していかなくてはならないと思っています。

アンケート結果の一部 (Ⅰ. 全体的な評価)



学修支援室 — 日頃の学習を支える —

学修支援室は、学生支援センターの入り口すぐであり、この支援室の一面には、就職・編入学支援コーナーを配しています。

学修支援室は、原則として教職員による教育を含めた学生指導の場所です。支援室内には、映写スクリーン一台、ホワイトボードが二台（設置式と移動式）設置されており、十四〜十六人収容可能で、長机と椅子も備えられています。もちろん、この支援室を小分割して、五人編成の三グループ程度が同時に使用可能です。この支援室では、通常講義の補完教育、平成二十二年度から開始された新しい学生支援制度であるアドバイザー制度での個々の学生の教育・生活両面に亘つての指導、また、教職員によるキャリアのガイダンスなどを実施することが可能です。

教務部長 兵藤 文則

また、この支援室は、教員指導の下、自主学習の場として利用することも可能です。スケジュール表で支援室に空きがあることを確認して、教員の許可を得て利用して下さい。この部屋での飲食は禁止としています。

学修支援室の新設は、少人数学習室（グループ学習室）や自主学習室設置の要望に部分的に



新しく完成した学修支援室

応えたもので、四階に新設された多目的研修室も併せると、更に学習環境のハード面が充実できたと考えています。

就職・編入学支援コーナー — 未来を支える —

就職専門委員会 委員長 名木田 恵理子

学修支援室の一角に就職・編入学支援コーナーを設けました。このコーナーには、公務員など病院・施設以外の求人先から送ってきた資料や「岡山病院ガイド」などを置いています。また、パソコン五台とプリンターを用意しています。これらのパソコンには事務所で受け付けた求人情報データを閲覧できる共有フォルダを設けています。

もちろん、インターネットを使ってさまざまな求人情報源（ハローワーク、リクナビ、マイナビ等）にアクセスすることもできます。これらのホームページは、使い勝手がよいように「お気に入り」に入っています。アクセスには、情報教育室の利用時と同じID、パスワードを使います。

現在のところ、自由に使えるのは、昼休み時間帯ですが、そのほかの時間も教員の許可があれば利用することができま



新しく設置されたパソコンを使って求人情報を閲覧する学生たち。求人票以外にもさまざまな就職に関する情報検索に役立ちます。

医務室 — 体・健康を支える —

養護職員 瀬戸 和子

皆さんご存知ですか？医務室は今年五月二十七日に改装移転しました。以前の医務室に比べ、面積は約二倍、ベッドは四台に増床されました。医務室の中にはインフルエンザ等感染の危険性のある場合、一時的に隔離をする隔離室やチョットしたカフェコーナーもあります。そして各部屋には個別の空調設備もあり、とても明るく快適な空間です。

医務室の改装は教職員の長年の願いであり、毎年のように学園に対し、本学の要望事項として出していたでいては、なかなか実現に至りませんでした。しかし、ここ数年、学生の医務室利用は増加傾向がみられ「部屋が狭い」「ベッドが少ない」等の意見が聞かれるよう

になりました。そこで、再度強力に本学から要望を出してやっとな改装移転が実現しました。

た。医務室利用の本来の目的は、①身体の不調に対する一時的な手当て、②病状に合わせた適切な医療機関への紹介です。昨年は校医である学長の紹介状により川崎医科大学附属病院を受診した件数は約九〇件でした。ほとんどの人は大きな病気ではなく、早めの受診で悪化せず回復に至りましたが、中には大きな病気を診断され、入院になったケースもありました。このような本来の目的の他にも軽い心の不調の相談（必要な時は学生



▲右から2番目が瀬戸先生。昼休みの時間や講義のあい間を利用して健康のことや恋愛のことなどさまざまな話をしています。

▼カフェコーナーで話をする学生たち。いろいろな情報が交換されるこの場所では他学科の学生同士でも、友達になることができます。



相談へ紹介）が「相談室へいくほどでもないで話を聞いてほしい」「アルバイトの悩み」「両親の体調の相談」「恋愛の悩み」「友達関係の悩み」「実習の悩み」「ダイエット相談」（5kg減量した例あり）「禁煙相談」（現在禁煙スケジュールで努力中）等々、また、友達との待ち合わせやレポートを書いたり、お弁当を食べる場所だったりもしています。そして、学科や学年の壁を越えて学生たちの交流もあり、医務室で友達ができたり、先輩から資料を貸してもらったり勉強を教えてもらったりしています。少しでも体調に変化があれば、必ず相談に来ることは勿論ですが、「医務室へは病気や怪我でないと行ってはダメ」という固定観念にとらわれず、どんなことでも気軽に医務室へ来てみてください。お待ちしております。

学生相談室 — ところを支える —

学生相談員 森 喜美子



本年度より六階の先生方の研究室近くから一階学生支援センター内の医務室の一角に移転しました。相談窓口を医務室に配置し、予約も受け付けています。利用時間も五時限の終了後や実習終了後にも利用可能なように午後二時から七時に変更しました。大勢の中になると不安になったり、息苦しくなったりして、教室に居ることがいたたまれなくなった学生が気軽に一息つきながら、勉強を続けやすい場としても、提供しやすくなりました。高校生までは、学業成績さえ頑張っていればいい子で過ごしてこられた学生も、短大生活に入ると、環境や学習内容も大きく変化して、様々な問題や悩みに困惑しています。一人で悩み、自己嫌悪から自身をなくしている人が目立ちます。

周囲の人（両親、友人、先生）たちに相談するきっかけを探る一つのステップとして、相談室を利用してもらいたいです。

自分を愛し、自分の味方になって、人のせいにならず、一歩一歩進んでいく学生さんの応援をしたいと思っています。

こんな施設もご紹介

学生支援センターには、学生用のコピー室があります。ここでは、講義や実習等に必要の印刷物に限り、指導教員の許可のもと利用することができます。

利用する場合は、担当教員（担任または指導教員）の許可印を得た後に、申請書を庶務課に提出してください。申請書は、学生支援センター内の掲示板にあります。

また、両面印刷をするなど、紙の無駄遣いをしないよう心掛けてください。なお、私用コピーは図書館または女子寮（女子のみ）のコピー機を利用してください。



こんな相談に対応します

- 性格・対人関係について
 - 自分の性格を知りたい
 - なんとなくやる気になれない
 - 誰かに自分の考えを聞いてほしい
 - 不安・心配事がある
 - 「人（きあひ）」が苦手である
 - 学生生活について
 - 勉強に集中できない
 - 短大生活にどうしてもなじめない
 - 自分らしさを生きたい
- 進路について
時間を見つけて、相談に来てください。一緒に考えましょう。

ハラスメント相談室 — 一人で悩まないで —

ハラスメント相談室長 永瀬 澄香

窓の外には、緑鮮やかな木々が茂り、夕方には西日が射し込む明るい環境に相談室が生まれ変わりました。黄色い椅子に白い机、側には観葉植物が置かれ、相談しやすいゆったりとした空間ができました。学生支援センター医務室の奥の一角にこんな素敵な学生相談室ができたことを嬉しく思うと同時に、学生たちが素直に自分を表現し、内に秘めた悩みを打ち明け、自然と心が落ち着く癒しの空間であることを望んでいます。

ハラスメント相談は、各学科より一名字つ選出され学長より委嘱された相談員（専任教員）が担当しています。ハラスメント（セクハラ・セクシユアルハラスメント、アカハラ・アカデミックハラスメント）は、場合によっては重大な人格侵害に繋がります。一人で悩まないで、どうぞ勇気を出し

窓の外には、緑鮮やかな木々が茂り、夕方には西日が射し込む明るい環境に相談室が生まれ変わりました。黄色い椅子に白い机、側には観葉植物が置かれ、相談しやすいゆったりとした空間ができました。学生支援センター医務室の奥の一角にこんな素敵な学生相談室ができたことを嬉しく思うと同時に、学生たちが素直に自分を表現し、内に秘めた悩みを打ち明け、自然と心が落ち着く癒しの空間であることを望んでいます。

ハラスメント相談は、各学科より一名字つ選出され学長より委嘱された相談員（専任教員）が担当しています。ハラスメント（セクハラ・セクシユアルハラスメント、アカハラ・アカデミックハラスメント）は、場合によっては重大な人格侵害に繋がります。一人で悩まないで、どうぞ勇気を出し

窓の外には、緑鮮やかな木々が茂り、夕方には西日が射し込む明るい環境に相談室が生まれ変わりました。黄色い椅子に白い机、側には観葉植物が置かれ、相談しやすいゆったりとした空間ができました。学生支援センター医務室の奥の一角にこんな素敵な学生相談室ができたことを嬉しく思うと同時に、学生たちが素直に自分を表現し、内に秘めた悩みを打ち明け、自然と心が落ち着く癒しの空間であることを望んでいます。

ハラスメント相談は、各学科より一名字つ選出され学長より委嘱された相談員（専任教員）が担当しています。ハラスメント（セクハラ・セクシユアルハラスメント、アカハラ・アカデミックハラスメント）は、場合によっては重大な人格侵害に繋がります。一人で悩まないで、どうぞ勇気を出し

川崎医療短期大学
ハラスメント相談室

一人で悩まないで...
勇気を出して、相談に来て下さい！

* 秘密厳守で、プライバシーは必ず守ります。

火曜日と木曜日の17時から19時は、学生相談室にハラスメント相談員が待機します

学生相談室
1階南側（旧・研究室、学生部長室の裏）学生支援センター内 医務室の一角に設置が移しました。

火曜日と木曜日の17時から19時の間は、学生相談室にハラスメント相談員がいます。直接、学生相談室を訪ねてください。すべてお話しを聞くことができます。

学科	氏名	電話番号 (内線)	メールアドレス
臨床検査科 (相談室長)	永瀬 澄香	43063	nagase@jc.kawasaki-m.ac.jp
一般教養	安井 佳子	43078	yasui@jc.kawasaki-m.ac.jp
電機科	豊高 翔子	43024	rikoh@jc.kawasaki-m.ac.jp
放射線技術科	林 朝子	43055	hayashi@jc.kawasaki-m.ac.jp
介護福祉科	内田 富貴江	43058	uchida@jc.kawasaki-m.ac.jp
医療保育科	青井 剛子	43039	aoi@jc.kawasaki-m.ac.jp
事務部	堀田 京子	43005	kurida@jc.kawasaki-m.ac.jp

* 連絡は、メール、電話、直接訪問、いずれの方法でもOKです。
* 直接は学生相談室で行います。（学生相談室は、1階南側 学生支援センター内 医務室の一角に移転しました。）
* 火曜日と木曜日の17時から19時は、学生相談室にハラスメント相談員がいます。直接、学生相談室を訪ねてください。
* 所属学科に関わらず対応します。

て相談に来てください。連絡は、電話、メール、居室訪問のいずれの方法でも結構です。さらに、七月より一階学生相談室で、火曜日と木曜日の十七時から十九時の間、ハラスメント相談員が待機するようになりましたので、気軽に相談にきて下さい。所属学科に関わらず、皆さんの身近な悩みを聞き、秘密厳守で誠実・迅速に対応したいと

平成二十二年 就職支援講座報告

就職専門委員会 委員長 名木田恵理子

医療福祉系の伝統校である本学は、各学科と病院・施設とのつながりが強く、長い間、情報提供、資料請求、就職先訪問、面接対策などの就職支援を学科単位で行ってきました。求人先のことを熟知している学科教員が専門的視野に基づいた就職指導・支援を行うことは効果的であり、ほとんどの学生が専門技術を活かせる職場に就職できています。ただし最近では、同領域の大学、学科が増え、大手の病院や施設への採用は以前より厳しくなり、必ずしも全員が希望の就職先に受け入れられてはいません。特に、臨床検査科、放射線技術科は、少ない募集枠を四年制大学卒業者

知識や技術力だけでなく幅広い教養やコミュニケーション能力も求められることになりました。このような背景から平成十九年以降、学科単位での就職支援に加えて、「社会人としてのマナーや教養の促進」を目的とした支援を全学的に展開しています。

平成二十二年前期にも別表のように就職支援講座を開催しました。今年度は主に「毎日コミュニケーションズ」という人材サービス会社でキャリアサポートを担当している土山勇氏と谷口舞氏に講師をお願いしました。

と競うという状況になっていきました。就職試験、面接では、専門

苦手で仕方がなくて、自分のどこを伝えたらいいのだろうと思っていたのですが、今回の講義を受けて少しは自信が持ったような気がしました。「とても充実した九十分を過ごすことができました。臨床検査科だけでなく、他学科でも行ったほうがいいと思います」という声があがっていました。

昨年から実施して大人気の「化粧髪型講座」では、上向き、清潔感、健康さを印象付けるような「ナチュラルな」化粧の秘訣や、お辞儀をしたとき顔の両サイドを遮断しないようなスッキリした髪型について講習を受けました。ロングヘアをいとも簡単にまとめあげる手の動きに感嘆の声が上がりました。

講座内容	実施日	対象学科 (卒業年次生)
自己分析講座	4月9日4時限	臨床検査科
就活マナー講座	4月24日1時限	看護科
	5月21日5時限	臨床検査科、介護福祉科、医療保育科
履歴書講座	6月26日1時限	臨床検査科
	6月26日2時限	看護科
面接対策講座	6月25日3時限	臨床検査科
	6月25日5時限	医療保育科、介護福祉科
	6月25日6時限	看護科
化粧髪型講座	5月17日5時限	放射線技術科、医療保育科
	6月6時限	看護科、臨床検査科、介護福祉科
	7月9日3時限	看護科



「自己分析講座」には、臨床検査科三年生が全員参加しました。学生は、臨床検査科用にかスタマイズした教材を使つての説明に熱心に耳を傾け、ライフラインチャートを書いて自分を分析・評価するという作業に取り組みました。講座後の「講座の内容は興味深かったか」「講座の内容は就職活動をしていくうえで、役立つと思うか」「講師の話は分かりやすかったか」「この講座を受けてよかったと思うか」というアンケートでは、「強くそう思う・そう思う」という答えが九十%以上を占め、否定的回答は全くありませんでした。「今まで自己PRなど苦手で

「就活マナー講座」でも「く様やく御中の使い方が分かった。尊敬語は分かっているが、謙譲語がよく分かっていないことが分かった。また、この講座に参加したことで、「重敬語が分かり気をつけようと思った。『ご査収ください』という言葉は初めて知り、今後使ってみようと思った。初めてメールをする時などの注意点を知り、この講座に参加してよかったと思った」という具体的な感想が出ていました。

就職支援講座を計画するとき、苦勞するのは日程調整です。学外実習中なので学科によつては参加できる時間帯がほとんどなく、六時限目の開講となつてしまった講座もありました。今後、学生が無理なく受講できるように、前年度から予定に組み入れておくことや、講座の回数を増やすことが必要でしょう。また、現在は受講対象を最終学年の学生に限っていますが、就職支援・指導は、入学した時点から「社会人基礎力を備えた人材育成」を目指して始める必要があります。そのためにも、「入学前から卒業後まで」長いスパンでの支援体制を構築しなければならぬと考えています。



石田奈々氏（資生堂販売株式会社）による化粧指導。就職活動や実習で役立つナチュラルな化粧の方法に学生たちは興味深々、すぐに役に立つ情報が満載の講義。

第4回

オープンキャンパス

平成22年7月25日

開催

七月二十五日(日)、「一日短大生活を体験してみようー学食・先輩との交流も楽しみにー」というテーマで平成二十二年第四回オープンキャンパスが開催されました。

今回は、十時から十五時までのお昼を挟んでの開催のため、昼食には学食体験なども織り交ぜ、本学の概要説明や学科紹介が行われました。日差しが照りつける暑い一日でしたが、参加した保護者と高校生約六百名は、短大での生活を体験されました。

看護科



10kgの妊婦ジャケットを装着して妊婦体験 泣く赤ちゃんをあやす体験

医療保育科



2年生が手遊び指導

卒業生の西本彩さんが講演

介護福祉科



介護予防運動に取り組む参加者と学生 手話歌を披露する在学生

臨床検査科



心臓ちゃんと思えたかな？

尿検査実施中！

放射線技術科



X線写真の説明

X線CTの説明風景 (病院見学)

テーマ

いつまでも自分らしく元気に

知って得する介護予防

平成二十二年 第一回公開講座

広島YMCA学園 國岡義広 氏他



▲講座の様子



▲熱心に聞き入る参加者

平成二十二年 第一回公開講座が、六月十三日(日)午前十時から本学で開催されました。「いつまでも自分らしく元気に 知って得する介護予防」というテーマで、広島YMCA学園の國岡義広氏と介護予防運動指導員の中島真弓氏、本学介護福祉科の河邊聡子講師により、身近なところで行える介護予防のポイントを講義と実践を交えながら行われました。

当日は、雨天にもかかわらず、地域の方々や介護の現場で活躍している介護福祉士など八十八名が受講されました。

最初に、國岡氏より介護予防についての講義が行われました。「自己実現と生きがい自立」を目指して介護予防のプログラムを考えていくことが大切である。それには転倒予防、栄養改善、口腔機能向上、失禁予防などの要素を日常生活の中に効果的に取り入れる。このことにより生活の質も向上し、介護予防にもつながることを身近

な事例を用いながら分かりやすく説明されました。

その後、中島氏から参加者も実際に運動を行いながら、介護予防運動のメニューが紹介されました。椅子を使った運動では、踵や、つま先を上下、左右に動かして座ったまま下肢筋力を鍛える方法が紹介されました。これは、ふくらはぎの筋肉を使い足首を柔らかくすることにより捻挫が予防できる運動として、効果が期待できます。

次にマットやボールなど身の回りにある物を使い、ボールの「転がる」「支える」「弾む」といった特性を活かして手首の柔軟や関節の範囲を広げる運動、骨盤底筋群を鍛え失禁予防につながる運動が紹介されました。どれも自分のペースで楽しく行えるもので、自然と笑みがこぼれ会話が弾み、和やかな雰囲気の中で行われました。

今回の講座に参加された方より、「椅子に座った足の運動だけでも、意外に運動量がありました。これから日々の生活のなかで負荷を少しかけながら過ごしていくよう意識してみます」と感想をいただきました。

体力や筋力を向上させようと思うと、何となく気が重くなります。介護予防はできることにチャレンジすることから始まります。そして、何よりも大切なことは継続することです。普段から運動をする習慣を持ち、楽しく行うことで、自分らしく元気な生活を送ることができるというメッセージが本講座を通して伝わったのではないかと感じました。

(介護福祉科 小倉和也)

第4回
オペレッタ発表会
医療保育科
七月二十五日



王様の耳はロバの耳

木古 紗加栄

オペレッタのグループが決まったときはチームがまとまるのか、オペレッタが本当にできるのかと、不安だらけでした。最初は、練習に行くのにも気が乗りませんでした。しかし、脚本ができ、音楽が決まり、大道具を作り、演技をしていくうちに徐々に仲間



良くなって意見も言い合えるようになりました。私たちのチームは何事にも手を抜かず、背景や大道具にも手を掛けて作りました。演技は普段の自分を捨てて、役になりきっていたと思います。一人ひとりが自分の持っているものを出してくれたので、自慢のできる作品ができました。そして、メンバーのことが大好きになりました。

したきりすずめ

鉾 真里



長いと思っていたオペレッタの四カ月も、気がつけばあっという間に終わってしまいました。班ごとに脚本から始め、形もなかったものをメンバーで協力して形にしていきました。少しずつ友達との仲が深まり、少しずつ劇ができていき、そして少しずつ問題も増えていきました。自分たちの思う演技ができないこと、練習時間が少ないことなど、小さな不安がたくさんありました。しかし、そんな不安も、このメンバーだからこそ乗り越えられたと、オ

ペレッタが終わった今、そう思います。本学での三年間を形として残すことができ、そして多くの人の心に残すことができ、充実感に満ちた四カ月を過ごすことができました。支えてくださった多くの先生方に感謝し、支え合った四期生を誇りに思いま

オズの魔法使い

木村 真由美

私たちのチームはとても仲が良く、練習するときはいつも明るく、楽しくできました。意見を言い合ったり、注意し合ったりしながら、良い雰囲気でも過ごしました。また、本番の一カ月前にはチームのみんなで食事に行き、さらに仲を深めました。メンバー

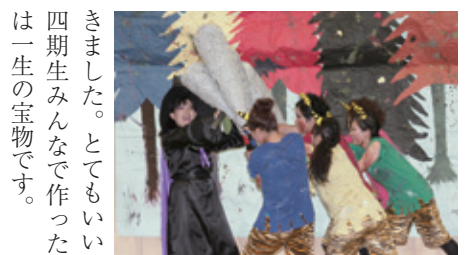


一人ひとりが役割を持って活動したので、リーダーの私にとつて、とても助かりました。私たちのチームは笑顔がすてきな人たちの集まりです。「いつも一緒」と思っていたので、オペレッタが終わってしまうと悲しくなりました。これからも、深まった仲を大切に、遊びに行きたいです。「オズの魔法使い」チーム、最高！そしてありがとう。

桃太郎

片山 未由希

三年生になつてすぐ、オペレッタのチーム分けがありました。初めは不安から始まりました。今まであまり話さなかった人とも同じチームになり、意見を言い合ったり、練習日時を調整したりすることが大変でした。しかし、六月末に幼稚園実習が終わり、本番が近付いてくるにつれて、衣装や大道具ができ上がる喜びを感じ、また演技



の完成度を上げることを頑張りました。オペレッタを通して、保育士として大切な気持ちの表現を学び、また友達との団結力を深め、協調性を身に付けることができました。四期生みんなで作ったオペレッタの思い出は一生の宝物です。

アリババと四十人の盗賊

寺谷 沙弥香

オペレッタを始める前は、何もかもが不安でいっぱいでした。私たちのチームは個性豊かな人ばかりで、最初は「ひとつにまとまるのか!」と思っていました。しかし、最後にはみんなが協力的で、リーダーの私をしっかり支えてくれました。



大変だったこと、難しかったことはたくさんありましたが、それ以上に楽しかったです。普段はあまり話さない友達と長い時間、一緒にいることで、とても仲良くなれました。毎日の練習では笑顔や笑い声が絶えませんでした。本番ではみんなの心がひとつになり、そして納得がいくできになりました。達成感や充実感で、一人ひとりが自然に抱き合ったり涙を流しました。オペレッタをこのチームでできて、そしてこの四期生全員とできて、本当に良かったです。みんなが大好きになりました。

日和見文学研究会



日和見文学研究会は、昨年の12月にできた文芸同好会です。今年度、仲間が10人集まり、部に昇格することができました。ほぼ全員が読書好きで構成されていると信じています。

主な活動内容は、学校のブログにそれぞれが選んだ本の書評を載せること、月に一度本の合評会を行うことです。また、長期休暇には文学踏査も兼ねたプチ旅行なども計画しています。現段階では読書のみですが、映画鑑賞なども行う予定です。

日和見文学研究会は部費なし、集会の強制なし、部の掛け持ちOK、をモットーに活動しています。「読書大好き!」「本なしでの生活なんて想像できない!」「マンガしか読まない!」「実は全然本読まないけどとりあえず趣味は読書って主張しとく!」などなど、しっかり日和見文学研究会で活動したい方、もしくは読書好きを微妙に主張したい方はお近くの掲示板に貼ってある日和見文学研究会のポスターを見て、是非メールしてみてください。

(放射線技術科 2年 松永 知与)

サークル 紹介 ⑤

みんなで陸上同好会



「みんなで陸上同好会」は今年の5月にできた同好会です。本学の陸上部は数年前に廃部になってしまっていたので、走ることが好きな者が集まり結成しました。毎週月～水、金、土曜日の放課後に川崎医療福祉大学のグラウンドや、倉敷運動公園の陸上競技場(倉敷市四十瀬)で福祉大学の陸上部と一緒に練習しています。指導者はいないため、自分達で自分達に合ったメニューを考え実行しています。福祉大学の陸上部と一緒に練習するので福祉大学の学生とも交流を持つことができ、友達の輪を拡げることが出来ます。

「みんなで陸上同好会」は、走ることを楽しみながら活動しています。初心者でも大歓迎なので興味のある方は是非一度福祉大学のグラウンドに顔を出してみてください。

(放射線技術科 1年 今永 誠也)

中国四国医科学生柔道大会 無差別級(個人戦)

第三位

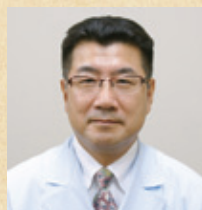


平成22年5月15日に徳島県立中央武道館にて、医療系の大学生を対象とした「第26回中国四国医科学生柔道大会」が開催されました。私は無差別級の個人戦トーナメントに出場しました(シード権があるため県大会予選は不出場)。3回戦までは順調に勝ち進みましたが、準決勝戦で怪我による途中棄権となり、結果は3位に終わりました。優勝することはできませんでしたが、自分なりに納得できる試合ができたと思っています。

今回この大会に出場して、応援してくれた人たちと一緒に練習をしてくれた先輩方へ感謝する気持ちが改めて湧いてきました。この気持ちを忘れずにこれからも頑張っていきたいです。

(看護科2年 藤井 由美)

日臨技学術奨励賞 優秀演題賞を受賞



臨床検査科の^{かなはら}鐵原拓雄准教授が、社団法人日本臨床衛生検査技師会主催の第58回日本医学検査学会(平成21年7月30日～8月1日)において、「日臨技学術奨励賞 優秀演題賞」を授与されました。演題は「バーチャルスライドを用いた解剖組織学の講義・実習への応用」で、演題総数526(特別演題を除く)の中から選ばれました。

組織学、病理学などの形態学を必要とする学問では顕微鏡下でのスライド標本による教育が必須ですが、スライド標本は破損や経時的染色性の低下は否めません。しかし、バーチャルスライドは半永久的に標本の保存が可能となり、今後の形態学教育において非常に有用で、この取り組みが評価に値するとされました。

なお、表彰式は第59回日本医学検査学会(平成22年5月22日)神戸国際会議場で行われました。



本学には体育館のほかにもトレーニングルームやテニスコートがあります。ぜひ活用しましょう。

スポーツ観戦の仕方を 少し変えてみよう

教員の活動紹介②〇

一般教養 准教授 湯浅 泰生



みなさん、元気ですか。
例年ない暑い夏を迎え、学生諸君、青春そのものの季節に突入ですね。うらやましい限りです。

私の専門は、体育実技の指導です。短大体育館を中心にバドミントン・テニス・球技・その他を行っています。残念なことにグラウンドが遠い為、特に男子学生には物足りなさを感じさせているでしょう。

さて皆さん、いろいろなスポーツを観戦する時、どのような見方をしていますか。多分現場に行くことやテレビでの観戦だと思います。

つい先日、サッカーのワールドカップも行われ、大いに盛り上がりましたね。その時、得点を入れた、入れられた、それだけでワイワイ騒いで楽しんだだけですか。それとも、あの国はなぜ勝ったのか、なぜ負けたのかを少し深く考えた時がありましたか。と言っても、テレビ画面を通してでは、なかなかむずかしいところがあります。では、どの様なところを注意して見たらよいのでしょうか。

サッカーについては、ボール周辺のプレーヤーの動きもさることながら、そこから遠くの位置にいるプレーヤーの動き、すなわちボールに対して体の向きがどのようになっているか、又ボールを蹴ったプレーヤーがその後どう動いているか等を注意して見ていると、勝つチームと負けるチームの差が少し見てとれる時があります。但し、このような観戦の仕方は主にチーム競技が適していて、個人競技の場合は当てはまらないこともあります。しかし、強者が勝ち、弱者が負けると言っても言い過ぎではないと思います。

私も学生・職員時代と長い年月バスケットボールでインターハイ・国体等に出場・観戦した時に各チーム力の差を一番感じた事は、「集中力の差」です。

以上のようなことを考えたり、感じたりしながらスポーツを観戦すると、今まで以上に楽しく見られるのではないのでしょうか。そして、選手一人ひとりの目の輝きや、呼吸音などを感じながら観戦するのが一番だと思います。

皆さん、たまには体育館・グラウンド等に行つてスポーツ観戦しましょう。できたら、からだを動かして汗を流してみたいかがですか。
この川崎学園には、本学以外にも総合体育館・川崎医療福祉大学（プール有り）・川崎医科大学附属高校と立派な運動施設がたくさんあります。しっかりと利用しましょう。

先輩から後輩へ②〇

「ありがとう」

特別養護老人ホーム 三清荘 古畑 香織
(介護福祉科 四期生)



川崎医療短期大学を卒業して、総社市の特別養護老人ホーム（以下、特養）に勤めて五年目になります。今は、特養フロアのサブリーダーとして、日々忙しくもあり、楽しくもありといった仕事をさせてもらっています。

特養のため、「死」に直面することもあり、生命の尊さや出会いの大切さ、また、看取りができることの素晴らしいさを感じています。利用者様の最期をどのように飾るか、「三清荘にいて良かった」「貴方に介護してもらえて良かった」と思って頂けるにはどうしたら良いか、毎日が勉強で、一瞬一瞬がかけがえのない時なのだと思えます。

私たちもそうですが、明日は、いえ次の瞬間には、何が起こるかわかりません。だからこそ悔いのないよう、誠心誠意利用者様と接しているつもりです。それでも失敗することもあります。怪我をさせてしまったり、忙しさからついイライラとしてしまったりすることもあります。そんな私にいつも利用者様は、「ありがとう」と言ってくれます。満面の笑顔で。しわくちゃ顔でにつこりと、「ありがとう」と言われた時は、さっきまでの悩みや苛立ちが消えてしまいます。骨折している方で、足が痛いのに、「忙しかったじゃろうに、ごめんよ。ありがとうね」。他人に触られるのが嫌で恥ずかしいのに、「オシメに出とった？替えてくれてありがとう」。認知症の方でも、そうでない方でもお世話してもらっていると分かって



七夕かざりを見ながら手を握りながら笑顔で会話を楽しむ様子

これから介護福祉士を目指す皆様へ。理想と現実のギャップに苦しみ、悩むこともあると思います。しかし、必ず利用者様が救ってくださいます。お年寄りからいろいろ学び、いろいろ頂いてください。そして、一緒に返していきたいと思います。

高校生の来学

高等学校の進路指導の一環として、大学訪問が行われています。本学では、高校からの依頼を受け、見学を受け入れています。その様子を高校生の感想文でご紹介します。

岡山県立邑久高等学校（六月二十五日来学）

参加者（教員一名、学生五名）
見学科（臨床検査科・放射線技術科）

臨床検査科では、どういったことを学習するのか説明を聞くことができました。また、体験学習では、いろいろな細胞を顕微鏡で観察させてもらうなど、いままでも知らなかったことを学ぶことができました。放射線技術科では、X線を使って箱の中身を透視したり、X線の性質について説明をしてもらい、放射線について理解を深めることができました。最後に、大学全体の説明では、将来についてよく考えることの重要性など、大学を選ぶうえで大切なことを教わりました。

私は初めて川崎医療短期大学を訪問しました。初めに行われた学科ごとの説明会では、臨床検査科・放射線技術科でどのようなことを学ぶのか、詳しく聞くことができました。また、体験学習も行われ、実際に見たり、触れたりすることができ、とても良かったと思います。特に臨床検査科では、普段見ることの出来ない菌を顕微鏡で見せていただき感激しました。高校にはない設備や機器をみることで、医療福祉系ならではの大学の雰囲気を感じることができました。



兵庫県立多可高等学校（七月二十一日来学）

参加者（教員二名、学生四十六名）
見学科（介護福祉科・医療保育科）

大学内にはたくさんの学科がありました。今回は、介護福祉科と医療保育科を見学しました。

私が一番心に残ったのは、自分の今の将来の夢にもっとも近い医療保育です。実習風景を見学したとき、その雰囲気や話し合いを行っている在学生の方がとても楽しそう



で、自分が行きたいと思う大学が一つ増えました。

今回の大学見学は、私にとってとてもよいものになりました。本当に来られてよかったです。とても暑かったけど、自分の将来に役立つものになったと思います。

私は福祉関係に興味があったため、今回の大学訪問に参加しました。

介護福祉科の施設見学では、福祉関係の機器を紹介しながら、その機器の説明や実演をしてくれたので、福祉に関する知識をたくさん身につけることができました。この知識を今後に生かしたいと考えています。

将来、福祉関係の仕事に就きたいので、今日学んだことをもとに夢に向かって全力でがんばろうと思っています。

第36回 川崎学園祭



10月9日（土）・10日（日）の2日間、「ROOTS ～新たなスタート～」という統一テーマのもと、第36回川崎学園祭が大々的に開催されます。また、学園祭と並行して9日（土）には第2回公開講座が、9日（土）・10日（日）の両日には第6回オープンキャンパスも開催されます。皆さんも奮って参加してください。

※ ROOTSとは物事の起源や由来という意味です。川崎学園には医大、福祉大、短大、リハビリの4つの学校があるので、それぞれ ROOTS があります。そして、それぞれの ROOTS が交わりあいながら新しい ROOTS を作っていきたい、という願いをこめてこのテーマを選びました。また、今年には川崎学園が40周年を迎えるので今までの学園の歴史や医療の大切さを再認識し新たなスタートを切ろうという意味も込められています。

地球温暖化対策
ワーキング
グループだより



川崎エコプロジェクト

消費する
紙の量を
チェックする

本学が使用するPPC用紙（プリント用紙）の消費量は、いったいどれほどでしょうか。平成20・21年度について調べたところ、こんな結果が出ました。20年度が約12.5トン（2,635,500枚）、21年度が約11.4トン（2,390,500枚）、本学に所属する教職員と学生の総数を1,200人とすると、1人当たりの消費量は20年度が約10.6kg（約2,200枚）、21年度が9.6kg（約2,000枚）。

紙1トンをつくるには、直径14cm×長さ8mの立木約30本必要とされています。ですから、本学が消費するPPC用紙をつくるためには、少なくとも300本ほどの木が茂っている森を消す必要があるのです。おまけに10トンの紙をつくるには、約2.6トンの二酸化炭素を排出するとされています。森を保護し、二酸化炭素の排出量を抑えることによって地球の温暖化を防ぐためにも、紙の消費量の抑制は避けることのできない手段の一つです。

因みに、本学における21年度のPPC用紙の消費量が20年度に比べて約1.1トン減少したのは、会議資料等の両面使用や裏紙利用等を促進した結果です。

（地球温暖化対策委員会ワーキンググループ）

主要行事 (10月～12月)

10月

- 1日 授業開始
- 4日 介護福祉科2年生介護実習Ⅳ (～11月16日)
- 8日 全学科午後休講
- 9日 学園祭 (～10日)
- 第6回オープンキャンパス (～10日)
- 第2回公開講座
- 13日 臨床検査科2年生臨床実習開始式
- 16日 特別入試
- 22日 特別入試合格発表
- 25日 臨床検査科2年生臨床実習Ⅰ (～2月17日)
- 30日 看護科2年生戴帽・授章式

11月

- 6日 推薦入試
- 12日 推薦入試合格発表
- 13日 第3回公開講座
- 15日 看護科2年生Bクラス基礎看護学実習Ⅱ (～27日)
- // 介護福祉科1年生介護実習Ⅱ (～12月4日)
- 27日 放射線技術科卒業研究発表会
- 30日 看護科2年生Aクラス基礎看護学実習Ⅱ (～12月10日)

12月

- 1日 医療保育科2年生保育実習Ⅱ・Ⅲ (～11日)
- 15日 放射線技術科3年生第1回卒業試験
- 20日 臨床検査科3年生臨床実習(臨地)実習終了式
- 22日 臨床検査科3年生第9回研究発表会

川崎医療短期大学広報誌「若きいのち」(70号)

2010年9月発行

編集発行：広報誌編集委員会

- 天野貴司 (放射線技術科・委員長)
- 近末久美子 (臨床検査科・副委員長)
- 名木田恵理子 (一般教養)
- 橋本美香 (一般教養)
- 重田崇之 (一般教養)
- 阿部裕美 (看護科)
- 河邊聡子 (介護福祉科)
- 中井 靖 (医療保育科)
- 山田 篤 (庶務課)
- 重政有里 (庶務課・書記)

写真協力：二葉写真館

印刷：友野印刷株式会社

皆様からのご意見・ご要望をお待ちしております。

〒701-0194 倉敷市松島316

川崎医療短期大学 広報誌編集委員会

電話：086-464-1032 (庶務課)

Eメール：kouhou@jc.kawasaki-m.ac.jp

ホームページ

http://www.kawasaki-m.ac.jp/jc/

平成23年度 入試日程

試験区分 学科等	AO入試	特別入試 (社会人枠を含む)			推薦入試・公募	一般入試前期		一般入試後期	
		小	自己 推 薦 書	面 接・ 調 査 書		必須 「国語総合・現代文」 選択 「英語Ⅰ・Ⅱ」 「数学Ⅰ・数学A」「物理Ⅰ」 「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」 から1科目	必須 「国語」	A (センター試験利用)	B
看護科	調査書 1次面接 2次面接 課題								小論文 面接(A・Bとも実施)・調査書
臨床検査科	—					看護科と同じ		必須 「国語」	「物理Ⅰ」 「化学Ⅰ」 「生物Ⅰ」 から1科目利用 ※理科を2科目受験している場合は点数の高い科目を利用する。
放射線科	—				小テスト 「国語総合」 「数学Ⅰ」 「英語Ⅰ」 から1科目選択	面接・調査書		必須 「数学Ⅰ・数学A」 選択 「英語Ⅰ」「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」 から1科目	
介護福祉科	調査書 1次面接 2次面接 課題							必須 「国語総合・現代文」 「数学Ⅰ・数学A」 「英語Ⅰ・Ⅱ」「物理Ⅰ」 「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」 から2科目	必須 「国語」
医療保育科	—							看護科と同じ	必須 「国語」
試験日	9/18 (土)	10/16 (土)	11/6 (土)	1/28 (金)	3/11 (金)				
出願期間	8/26 (木)～ 9/11 (土) [消印有効]	9/27 (月)～ 10/9 (土) [消印有効]	10/18 (月)～ 10/30 (土) [消印有効]	1/4 (火)～ 1/21 (金) [消印有効]	2/21 (月)～ 3/5 (土) [消印有効]				
合格発表	9/27(月)午後5時	10/22(金)午前9時	11/12(金)午前9時	2/4(金)午前9時	3/16(水)午後5時				

平成22年度

公開講座

入場無料 (一般の方の参加をお待ちしています)



第2回

講座名 「すべての子どもに保育を～医療保育とは何か～」

講師 宮津 澄江 (本学医療保育科 准教授)
入江 慶太 (本学医療保育科 助教)

日時 10月9日 (土)
10:00～11:30

会場 川崎医療短期大学 体育館 102教室

申込み・お問い合わせ先

〒701-0194

岡山県倉敷市松島316

川崎医療短期大学 公開講座係

TEL: 086-464-1032

FAX: 086-463-4339

Eメール: koukai@jc.kawasaki-m.ac.jp

第3回

講座名 「がん治療最前線～切らなくても治る、副作用の少ない粒子線治療とは～」

講師 菱川 良夫 (メディオリス医学研究財団
がん粒子線治療研究センター長)

成廣 直正 (本学放射線技術科 講師)

日時 11月13日 (土) 10:00～11:30

会場 川崎医療短期大学 体育館 101教室



今回の特集にもなっています。今年に入り本学では様々な変化がありました。一階に「学生支援センター」が開設され、旧学生食堂と寮食堂は全面改装で「ぱん・で・らんち」と「フードモール」に変身しました。本学の校舎は歴史ある建物ですが、改装を加えたり新しいものを追加したりしながら常に進化しています。今後もそういった進化を少しでも皆様にお伝えできればと思います。

私事ですが中でも印象深かったのは、「ぱん・で・らんち」がオープンしたことでした。私がいつもより少しだけ早く出勤し職員玄関に入ると、突如として一面に香ばしい匂いがして、「何が起きているのだ？」と混乱したのを覚えています。もちろん事前に「ぱん・で・らんち」が完成することは聞いていたのですが、名称が「ぱん・で・らんち」なので、お昼にだけ利用できるものと思っていて、朝から利用できるとは思いませんでした。(毎朝七時にオープンしています)。その日は「日中校内のどこへ行っても焼きたてパンの香りがして、においが違うだけで別の大学にもなったかのように感じました。その日、どのように感じたのかを皆さんに一度聞いてみたいところです。

最後になりましたが、ご多忙の中、貴重な時間を割いて記事を書いてくださった執筆者の方々に深くお礼申し上げます。(重田崇之)

編集後記